

武豊線の近代化促進に関する要望

貴職には、武豊線の近代化促進につきまして、平素より格別のご理解とご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

武豊線は、明治 19 年 3 月に県下で最初の鉄道として開通して以来、名古屋圏と知多地域を結ぶ重要な路線として地域の発展に大きな役割を果たし、住民の貴重な足として利用されてきました。

新型車輛が導入されるなど、利用者の利便性は向上されましたが、未だ、武豊線は単線・非電化であり、さらには市街地内で未高架となっているなど、より一層の整備拡充が早期に望まれています。

近年は、沿線地域において大規模な宅地開発、マンション建設、大型小売店舗の開店など生活環境の整備が進んだことにより、公共交通の需要は高まりを見せており、21世紀のまちづくりを推進していく上で、武豊線が果たす役割はこれまでも増して重要なものになっています。

また、それに伴い住民ニーズは多様化しており、運送力の強化はもとより、バリアフリー化をはじめとする人にやさしく利用しやすい武豊線を実現するためには駅施設の整備・改善及び利用者へのサービスを充実させることが最も重要です。これは地域住民に積極的な武豊線利用を促す最も有効な手段であります。

一方、中部国際空港においては工事もほぼ完成に近づき、2005 年 2 月の開港を待つのみとなっています。武豊線は JR 路線網の中で最も空港に近接しており、空港へのアクセス鉄道として延伸されることは、沿線住民、空港利用者からも大きく期待されています。

つきましては、知多半島における国際空港開港という原動力を最大限に活用し、当地域の発展を図るため、武豊線の近代化促進及び整備に関する次の事項について、東海旅客鉄道株式会社に要望してまいりました。貴職におかれましても格別のご配慮をお願い申し上げます。

記

- 1 . 電化・複線化の早期実現と名古屋との直通列車増発
- 2 . 乙川駅から東成岩駅間の鉄道立体化の早期実現
- 3 . 中部国際空港への武豊線の直接乗り入れ
- 4 . 駅施設の整備、改善
 - ・ 高齢者、障害者の利用に配慮した駅施設のバリアフリー化
 - ・ 尾張森岡駅及び乙川駅に便所の設置
 - ・ 石浜駅西側（上り）ホーム北側に駐輪場への階段設置
 - ・ 亀崎駅の橋上化による利便性の向上
 - ・ 半田駅及び亀崎駅の1番ホーム復活と乗降利用
- 5 . サービスの充実
 - ・ 名古屋駅及び金山駅において、武豊線乗り継ぎ時間の表示
 - ・ 利用客急増の緒川駅に運行時間中の駅員配置
 - ・ サービス低下につながる駅員の廃止・削減の取止め
 - ・ 警備員による各駅の夜間巡視
- 6 . 各駅利用者駐輪場にかかる借地代の減免
- 7 . 長時間遮断踏切の改善

平成16年11月26日

国土交通省中部運輸局長
安原敬裕様

武豊線近代化促進期成同盟会
会長 半田市市長 榊原伊三